

## 平成24年度 次世代育成支援事業報告書

市町村老連名 笠岡市 老人クラブ連合会

実施クラブ名 新山地区老人クラブ連合会

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①</p> <p>地域の概況</p> | <p>新山地区は、岡山県の西端で笠岡駅からおよそ8km北へ(至矢掛町)入った周りを小高い山に囲まれた、人口1,800人(740世帯：高齢化率35%：小学校1校80名：中学校1校150名)の静かな盆地である。</p> <p>地域の主な産業は、昭和世代は農業であった。稲作、畑作に加えて果樹園芸、特に桃・柿の栽培が盛んであったが、近年は、機動化や交通網が整備されるにつれて、若い働き手が福山、水島、倉敷、岡山などの商工業地域への通勤が増えている。</p> <p>そのような地域環境の中で、当老人クラブは、会員相互の友好と繋がりを大切にしながら、会員の体験を生かした育成支援活動を通じて地域の活性化と世代間連帯意識の高揚を図っている。</p>                                                                                                                                                                             |
| <p>②</p> <p>活動状況</p>  | <p>年間を通じて、公民館、学校との連携を密にしながら三世代交流事業として小学生を対象に農事体験学習4件の支援活動を行って地域と学校(児童)のつながり・ふれあいを深めている。</p> <p>1. さつま芋栽培学習</p> <p>○苗植え付け</p> <p>日 時 平成24年5月28日(月) 9:30～10:30</p> <p>場 所 公民館管理農地 2a</p> <p>参加者 小学1, 2年生(22名、先生4名)、クラブ員10名、公民館2名</p> <p>当日は、クラブ代表が芋の栽培について簡単に説明し、4班に分かれて植え付け作業(200本)に掛かった。植え付けする畝は、前もって会員が準備しておいて、子どもたちが園芸用スコップで苗を植え付けた。</p> <p>水やり、草取り、肥料は小学生が中心になって実施した。</p> <p>(笠岡TV取材、ニュース放映)</p> <p>○芋ほり</p> <p>日 時 平成12月19日(水) 9:30～10:30</p> <p>参加者 1, 2年生と植え付けたメンバーで実施した。</p> <p>(笠岡TV取材、ニュース放映)</p> |

○焼き芋大会

日 時 平成10月25日(木) 9:30~10:30  
11:30~13:30

場 所 公民館 駐車場

参加者 1, 2年生と植え付けメンバーで、すくもの床を作り、  
芋を入れた。  
2時間後順次、全児童とメンバーが、一緒に焼き芋を食べた。  
(笠岡 TV 取材、ニュース放映)

○芋パーティー

日 時 平成11月19日(月)10:30~11:30

場 所 小学校教室

参加者 1, 2年生がメンバーを招待して発表会を開いてくれた。  
芋ケーキ等をつくったり、収穫までを紙芝居にして発表し  
交流会を行った。

2. そば栽培学習

○種まき 日 時 平成24年8月27日(月) 9:00~12:00

場 所 公民館 借用畑地(10a)

参加者 クラブ会員 15名

○刈り取り 日 時 平成24年11月8日(木) 13:00~16:00

参加者 クラブ会員 16名

○脱穀 日 時 平成24年11月28日(水) 10:00~12:00

参加者 クラブ会員 10名

○新そば初打ち

日 時 平成24年12月13日(木) 10:00~13:00

場 所 公民館 厨房

参加者 クラブ会員 15名

製粉後、公民館男性料理教室でそば打ち講習会を行い試食会を  
した。

また、公民館等の行事で有効に活用、地元八幡神社にも年越し  
そばを奉納、行く年来る年初詣の氏子(約200人)に接待した。

(笠岡 TV 取材、ニュース放映)

3. 麦栽培学習

○種まき 日 時 平成23年12月6日(木) 13:00~15:00

場 所 公民館 借用畑地(10a)

参加者 小学校3年生13名 クラブ会員 11名

○麦踏み 日 時 平成24年2月14日(火) 13:30~14:30

参加者 小学校3年生13名 クラブ会員 9名

(山陽新聞掲載、笠岡 TV 取材ニュース放映)

○刈り取り、日 時 平成24年6月15日(金) 13:30~16:00

参加者 小学校4年生13名、クラブ会員 16名

(山陽新聞掲載、笠岡TV取材ニュース放映)

○脱穀 日 時 平成24年7月10日(火) 10:00~12:00

参加者 クラブ会員 11名、(見学:小学校4年生13名)

○新うどん初打ち

日 時 平成24年8月27日(月) 9:00~13:00

場 所 公民館 厨房

参加者 クラブ会員 8名

製粉後クラブ会員相互のうどん打ちの講習会を行い試食した。

○小麦育成とうどん打ち体験学習発表会

日 時 平成24年10月4日(木) 10:00~13:30

場 所 小学校 料理教室

参加者 小学校4年生12名 クラブ会員 7名

小学校4年生を対象にうどん打ち体験学習を支援し、打ち上がったうどんと一緒に食べながらふれあいを図った。また、一年間の体験や小麦の歴史、活用等について児童が発表を行なった。

(山陽新聞掲載、笠岡TV取材ニュース放映)

#### 4. 干し柿づくり

○柿取り、つるし柿作業

日 時 平成24年10月15日(月) 10:30~11:30

場 所 クラブ会員柿畑、

参加者 柿取り:小学校3年生12名 クラブ会員 6名

皮むき、つるし作業:児童12名、保護者 5名

3年生の農事体験学習の中で地元特産西条柿の収穫作業を支援した。

児童は、保護者を交えて干し柿づくりをし、出来あがった干し柿は地元福祉協議会が年末の高齢者訪問時の1品に加えている。

(山陽新聞掲載、笠岡TV取材ニュース放映)

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>③</p> <p>活動の効果</p>  | <p>当地区では、公民館、婦人会、学校が中心になって、あいさつ運動を展開している。そのような環境の中で、日ごろ子どもたちとの接触が少ない会員にとっては学校支援活動が子どもたちの顔を知る、知ってもらえる絶好の場となっている。登下校をはじめ、いつでもどこでも、あいさつの言葉が交わせるようになってきて、児童、生徒の安全安心を見守る雰囲気につながっていると自負している。また、三世代交流活動の相乗効果としては、次の３点があげられる。一つには、私たちの活動する姿や収穫した見事な作物を見て、高齢者に対する認識の変化を期待している。二つ目は、収穫した作物を家に持って帰ってみんなで食べて団欒の輪が広がることを期待している。三つ目は、子どもたちの健やかな成長、非行防止につながっていくことを期待している。</p> <p>私たちのクラブは、このような三世代交流活動が地域の絆づくりの役割として、これからも地域、学校、家庭と連携を密にしながら、継続していきたいと思っている。</p> |
| <p>④</p> <p>課題・問題点</p> | <p>このたびは、当クラブに助成をいただき大変嬉しく思っています。クラブ員にも、ややマンネリ化傾向が見られる中での助成はクラブ活動活性化の起爆剤になったと思っている。</p> <p>私たちの世代間交流活動が子どもたちに生きる力として育まれ、豊かな心、社会性、主体性を持って、いつも笑顔で人との繋がりを大切にできる行動や発表会に見られるように自分で考え表現する力の一助になればと思っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>⑤</p> <p>今後の進め方</p> | <p>老人クラブと各種団体との助け合いの場をつくり、会員一人ひとりが地域の一員として次世代層に役立っているとのプライドを高めながら、経験則の継承活動を行っていきたい。今後とも会員が心身ともに健康で毎日を楽しく過ごせる活動になることを願っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |